

医療・介護福祉で重要視される栄養の力 今、現場が求めるのは「栄養経営士」!



基礎講習の講師を務める
宮澤靖代表理事

最近では診療報酬・介護報酬ともに栄養への注目度が高く、管理栄養士も多職種チームの一員として活躍することが求められているが、実際に動いているところがどのくらいあるだろうか。そうした現状を打破するために、講義ではまず自分

2021年度の「栄養経営士」資格認定基礎講習は、「栄養経営士」資格認定試験の受験には「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)の修了が受験要件になっており、2015年の開始以来、会場受講では累計1391人の修了生を輩出している。今まで基礎講習は会場受講とDVD受講で行っていたが、コロナ禍の状況を踏まえ、2021年は第1回を3月21日(日)に東京会場で実施、会場受講とオンライン受講の両方を可能とするハイブリッド形式で開催する。多職種からの期待に応えられる管理栄養士に

2021年度「栄養経営士」資格認定基礎講習

長期化するコロナ禍で必要となる 栄養経営のセンスと実行力を学ぶ

「栄養経営士」資格認定試験の受験には「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)の修了が受験要件になっており、2015年の開始以来、会場受講では累計1391人の修了生を輩出している。今まで基礎講習は会場受講とDVD受講で行っていたが、コロナ禍の状況を踏まえ、2021年は第1回を3月21日(日)に東京会場で実施、会場受講とオンライン受講の両方を可能とするハイブリッド形式で開催する。多職種からの期待に応えられる管理栄養士に

たち栄養部門が施設のなかでどういう状況・立場なのか、現状を分析・把握するところからはじめる。そして、そこから見えてくる問題点や課題を知り、それを解決するための手段や目標などを各々で考える。

「より良い栄養部門にしたい」という強いモチベーションが生まれ、それが自院・自施設の栄養業務改革へとつながっていく。また、こうした分析、思考、行動が栄養経営士としての基礎となり、自部門のマネジメント、ひいてはアウトカム評価へと発展していくことができるのだ。

こうして自分で模索する過程で得られるさまざまな「気づき」により、受講者のなかに「この良い栄養部門にしたい」という強いモチベーションが生まれ、それが自院・自施設の栄養業務改革へとつながっていく。また、こうした分析、思考、行動が栄養経営士としての基礎となり、自部門のマネジメント、ひいてはアウトカム評価へと発展していくことができるのだ。

「栄養経営士のマネジメント力で施設を守る」
コロナ禍では、医療

「栄養経営士」は会員価格で基礎講習に参加可能! 3/21

栄養経営士・栄養経営サポーターの皆様、会員になって時間が経ち、つい日々の業務に流されていませんか? コロナ禍で閉塞感のある今こそ、基礎講習に参加して「あの頃の熱い気持ち」とモチベーションを取り戻しましょう! オンライン受講であれば自宅からでも参加でき、栄養経営士・栄養経営サポーターは「会員価格(5,100円)」で受講できます。ぜひご参加ください。

★詳細はこちらから!



「これからの管理栄養士のありかたや管理職としての業務などを考える」

「この良い栄養部門にしたい」という強いモチベーションが生まれ、それが自院・自施設の栄養業務改革へとつながっていく。また、こうした分析、思考、行動が栄養経営士としての基礎となり、自部門のマネジメント、ひいてはアウトカム評価へと発展していくことができるのだ。

「栄養経営士のマネジメント力で施設を守る」
コロナ禍では、医療

「栄養経営士のマネジメント力で施設を守る」
コロナ禍では、医療

2021年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式に変わります!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:2021年3月22日(予定)～ ※毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:2021年3月1日～(通年)
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習はWEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 🔍 検索



★2021年度介護報酬改定

栄養分野における加算の新設・見直しで注目される管理栄養士の役割

2021年度介護報酬改定において「栄養ケアマネジメントの充実」「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取組の一体的な推進」「多職種連携における管理栄養士の関与の強化」等が打ち出され、今、栄養と管理栄養士が注目を集めている。「介護保険施設における看取りへの対応に係る加算」では管理栄養士の関与が算定要件となったが、看取り期のチームで管理栄養士は何を行えばよいのか。ホスピスの管理栄養士として看取り期の食事管理の経験を持つ当協会の大谷幸子理事にお話をうかがうとともに、介護福祉施設で勤務する栄養経営士を対象に行ったアンケートについて掲載する。

管理栄養士の独りよがりにならない心に寄り添った食事提供を



日本栄養経営実践協会理事
大阪樟蔭女子大学特任教授
くすのき健康栄養センター
センター長
大谷 幸子

私は2012年に開設した淀川キリスト教病院のホスピスでも、2016年まで管理栄養士をしていました。ホスピスと介護施設では違うところが多いとは思いますが、「最期を迎える人に食事を提供する」という部分で、私の経験が参考になればと思います。

当時、病院では月に一度イベント食がありました。ホスピスの3

週間という平均在院日数では恩恵に預かれな人もいました。これではいけない、患者の思いに沿った食事提供がしたいと思い、みんなの希望を叶えるため、毎週のリクエスト食を開始しました。

リクエスト食は毎週土曜のため、金曜午後

に時間をつくり、時間をかけて対象者に希望の食事を聞き取りました。一人ひとり思い出を聞きながら一緒にメニューを決めるのは、楽しい時間でした。ただし、希望の食事を出しても、食べられるとは限りません。そんなときは無理強ひせず「見るだけでもいいよ」と声をかけ、実際に食べられる

食事には別に用意していただきました。他にも心配なことがあれば、看護師に食事の見守りを頼んだりもしました。

ホスピスでは積極的な治療も栄養管理も行いませんが、食事も医師、看護師、調理師などのスタッフと一緒

にチームで動くことが前提になります。「見るだけでも」という声かけも、カルテを読み、スタッフと打ち合わせをして、その言葉をかけていくのかを確認してから行いました。声かけひとつとってもチームの活動であり、管理栄養士の独りよがりではダメなのです。

チームでは、対象者と向き合う時間をつくるマネジメント能力のほか、カルテを読み解く力、情報を引き出すコミュニケーション能力

など、管理栄養士として総合的な力が試されます。今改定での「多職種連携における管理栄養士の関与の強化」でも、そうした役割が期待されているのではないのでしょうか。

最期の食事になるかもしれない方に対し、施設の方針をもとにスタッフ全員が同じ方向性を共有し、管理栄養士としてできることを探って、実行する。これはホスピスでも介護施設でも同じだと思います。

看取り期に積極的に関わることは、つらいことでもありません。しかし私は、一生懸命最後まで生き切ろうとする人に、かわいそうと泣いたり同情したりするのは失礼にあたると思います。いかに心と時間を持ってもらおうか、楽しい食事にするかを心がけました。

対象者の楽しい思い

出を引き出すために、管理栄養士として何ができるのか。一人ひとりの人生を慮りながら寄り添って聞く、強さと覚悟を持っていただけたいと思います。

多職種連携における管理栄養士の関与の強化

介護保険施設において多職種連携で行う取組について、管理栄養士の役割や関与を強化する観点から、以下の見直しを行う。【告示改正、通知改正】

- ①介護保険施設の看取り対応に係る加算(看取り介護加算、ターミナルケア加算)、又は基本報酬の算定要件において、関与する専門職として管理栄養士を明記する。
- ②褥瘡マネジメント加算、褥瘡対策指導管理の算定要件に、関与する専門職として管理栄養士を明記する。

〔令和3年度介護報酬改定における改定事項について〕
第199回社会保険審議会介護給付費分科会資料 参考資料1より抜粋(一部改変)

2021年度介護報酬改定「栄養経営士」アンケート結果報告【抜粋】 (n=27)

Q1 改定の情報をどこでチェックしているか、具体的にお知らせください(複数回答可) (人)

法人グループ・職場内での情報共有、資料配布など	8
日本栄養士会のサイト・研修会など	7
厚生省、社会保障審議会のサイトや資料	5
全老健、老協協など各種協会のサイトやニュース	3
その他	9

▼自由回答ではCHASE・VISITへのデータ提出に関して気になる・不安に思うという回答が多数寄せられた。算定要件についても「自施設が当てはまるかわからない」「Q&A待ち」という声がかたれ、4月の改定を前に詳細がわからず戸惑う姿がうかがえた。
※アンケートの全内容は後日Webで報告いたします

Q2 栄養分野に関する項目で気になっているものはありますか(複数回答可) (人)

栄養マネジメント強化加算の新設	23
口腔・栄養スクリーニング加算の新設	19
栄養マネジメント加算の廃止(包括化)	18
通所系サービスにおける栄養アセスメント加算の新設	17
施設系サービスの運営配置基準における管理栄養士の明記	16
看取りおよび褥瘡に関する加算等の算定要件への管理栄養士の明記	15
経口維持加算における原則6月の算定期間要件の廃止	13
低栄養リスク改善加算の廃止	7
認知症グループホームにおける栄養管理体制加算の新設	6

Q3 特に気になっていること、自身の仕事に関係してきそうな点について具体的にお知らせください(自由回答)

- 通所での業務の進め方と業務の見直し。リハ会議などへの参加と国へのデータ提出の内容や負担や頻度など。
- 配置基準、多職種連携、ICT導入とCHASE対応、災害時の地域連携に感染症対策と課題は山積みで、すべてにおいて気になっており、頭を悩ませております。
- 在宅復帰強化型施設としてやってきましたが、現在はコロナ禍で稼働率が落ち込んでいるため、介護報酬改定後もこれまでのように在宅復帰へつなげていけるかが気になっています。

(一部抜粋)

コロナ禍の不安を抱える今だからこそ、これからの体制づくりを進めたい

今改定では高齢者の自立支援と重症化予防に向けた取り組みが評価され、老健の役割である在宅復帰・在宅療養支援やリハビリテーション等の機能が、さらに強化された印象です。これまで推奨とされてきた事例が当然のこととして基本サービスに組み込まれ、アウトカムを求められていると感じています。外部との連携や多職種協働は一朝一夕にはならず、職員の意識向上も必要です。当施設ではまだ電子カルテと紙カルテを併用中であり、CHASE等へのデータ提出の道筋をつけることも課題として挙がっています。そんななか、施設内の取り組みを進めるうえでどう貢献していくか、大変ですがやりがいも感じています。

コロナ禍での緩和や共存を考えると不安はありますが、先行き不透明な状況だからこそ職員一体となって、施設の強み・弱みを多角的に分析し、今後の体制づくりに活かしていきたいです。

(介護老人保健施設さやまの里 和田純子さん)

今改定を機に人員を強化し手薄だった在宅の栄養ケアにも力を

栄養マネジメントの包括化により人員が増やせれば、強化加算を取り、手薄だった在宅の栄養ケアにも力を入れたいと考えています。今は利用者のアセスメントを行って基礎データを収集し、加算を取る準備を進めています。今改定で全体的には良い方向にいくのではと感じています。

(社会福祉法人藤の美会 特別養護老人ホーム七樹苑 主任 伊達聡美さん)

他職種との連携が課題、日常業務と管理業務のバランスがカギに

他職種と連携が取れていないと厳しい内容になってきたと感じています。施設にはNSTもありませんが、チームとして動くにはまだ壁を感じる部分があり、そこが今後の課題です。マニュアル整備やスタッフ教育も行う必要があり、日常業務とのバランスを考えて進めたいと思います。

(社会福祉法人熊本菊寿会 特別養護老人ホームさわらび 主任 井原香織さん)

支部NEWS

東海支部

【東海支部】 セミナーレポート

栄養管理プロセスを習得し、質の高い栄養管理・栄養介入で 管理栄養士の資質向上を目指す

支部研究会「栄養管理プロセスをワークショップで学ぼう～事例で学ぶ“栄養管理プロセス”の栄養診断～」WEB+会場参加の勉強会開催

1月30日(土)に日本医療企画中部支社主催、日本栄養経営実践協会東海支部後援で栄養管理プロセスのワークショップを会場参加とWEB参加のハイブリッド形式で開催しました。講師は使用テキスト『栄養指導事例集』(日本医療企画)の心疾患分野の執筆者である、医療法人名古屋澄心会名古屋ハートセンター栄養科主任で東海支部理事の島田晶子氏が務め、栄養管理プロセスをテーマに講演。ワークショップでは栄養診断の使い方等を実践的に学びました。当日は全国各地から栄養経営士・管理栄養士が、会場とWEB参加合わせて約40名集まりました。

栄養管理プロセスを習得し、 問題点や目標設定を明確化

栄養管理プロセスとは、栄養管理の国際的な基準であり、個々の対象者の栄養ケアの標準化だけでなく、栄養ケアを提供するための過程を標準化することを目的としています。今回のワークショップ勉強会では、栄養管理プロセスを活用した『栄養指導事例集』をテキストとして使用。執筆者の一人である、医療法人名古屋澄心会名古屋ハートセンターの島田晶子氏が「栄養管理プロセスをワークショップで学ぼう～事例で学ぶ“栄養管理プロセ

ス”の栄養診断～」をテーマに講演しました。

前半は栄養管理プロセスの概要や『栄養指導事例集』内の執筆事例(心疾患)の詳しい解説、栄養管理プロセスの使い方やコツを説明。島田氏は、栄養管理プロセスを導入するメリットとして「問題点や目標設定が明確化することによって、介入する方もされる方も双方にとって分かりやすい。また、介入する側の経験に左右されにくい」と述べました。

後半は、栄養管理プロセスの理解を深めるための個人ワークとグループワークを実施。症例から栄養診断P(問題点となる栄養診断コード)、E(問題点の原因)、S(問題点の根拠)を当てはめ、実践を通じて使い方を学びました。

最後に、島田氏は「栄養管理プロセスを駆使し、プロブレムリストを挙げ、目標設定をする。質の高い栄養管理・栄養介入により、管理栄養士の資質向上を一緒に目指しましょう」と訴え、講演を締めくくりました。

セミナー後の参加者アンケートでは、「WEB内で全国各地の方々と交流できて良かった」「栄養管理プロセスのワークをグループで行い楽しく学べた」等、とても高い評価をいただきました。

東海支部では、今後も管理栄養士のスキルアップ

を応援するための勉強会の開催とともに、さまざまな医療機関・施設で活躍される栄養経営士・管理栄養士が交流できる場をつくっていく予定です。



グループワークで栄養診断を実践的に学ぶ参加者



医療法人名古屋澄心会名古屋ハートセンター栄養科主任/東海支部理事 島田 晶子氏

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

エキスパートの先生や栄養経営士の仲間とサロンでつながろう!

日頃感じている疑問や不安、悩みを共有し仲間と一緒に解決策を考えてみませんか?

2020年12月より開始した新しい会員サービス「オンラインサロン」。その第2回が1月27日(水)18:30より約90分間行われました。当日は、第1回から参加の宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、真壁昇理事に加え、山下茂子理事が初参加。事前に寄せられていた質問や悩みに対し、各理事をはじめ参加者全員で意見を出し合い、アドバイスを行いました。

第2回となったオンラインサロンには、栄養経営士・栄養経営サポーター15人と宮澤代表理事をはじめとする4人の理事が参加。事前に参加者から質問を募集していたので、当日はそれについて全員で考え、それぞれの体験をもとにアドバイスや提案を行いました。

参加者からはさまざまな質問がありましたが、今回はチーム医療での他職種との連携や、看護師に栄養に興味を持ってもらう方法、若い職員のモチベーション維持など、コミュニケーションや人材マネジメントについての悩みが多く寄せられました。

そのなかの「若い人たちが居つかない、業務を覚えてもその先に行けない」という悩みについて、栄養経営士のテキストで「人材育成」について執筆している山下理事は「自分たちの職場だから自分たちで変えていかなければ。部門の

方針を明確にし、仕事の喜びや楽しさを教えてあげて欲しい。そのためにはまず自分が襟を直し、楽しく仕事をすることが大事」とアドバイス。

「栄養経営士のつどい札幌大会」で管理栄養士のラダー作成について発表した、北海道支部理事でもある医療法人深仁会手稲深仁会病院の田中智美さんは「ラダーをつくったことでキャリアの道筋が明確になり、若手が将来への焦りや不安から解放されることにつながったように思う。そういった道筋を示してあげては」と自身の経験から提案を行いました。

最後に宮澤代表理事が「キャリアを積んでいくと『次は何?』という目標が整っていないところも多い。まずはゆっくりスタッフの話を聞くことが重要」と告げると、質問者からは「大変参考になった。定期面談では目標設定など業務のことがメインになりがちだが、しっかり話を聞いて仕事の喜びを増やせるようにしていきたい」と前向きな感想が述べられました。

協会では、今後も月に1回以上のペースで「オンラインサロン」の実施を予定しています。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

★会員サービス「オンラインサロン」とは?

「オンラインサロン」はZoomを使って行う、当協会会員限定のサービスです。栄養経営士・栄養経営サポーターの方であればご自身でも、無料で参加いただけ、参加者全員が丸テーブルを囲んで楽しくおしゃべりするように、気軽に質問・相談できるスタイルになっています。

サロンには、当協会の宮澤靖代表理事をはじめとした役員の先生方が参加。今後は支部研究会やセミナー等で講師を務めていただいた先生をゲストにお呼びする予定です。

職場ではなかなか相談できない、交流する仲間が近くにいない、同じ仲間の意見が聞きたい、そんなときはぜひ「オンラインサロン」をご活用ください!

■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時:3月25日(木) 18:30～
- ◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇受講料:無料
- ◇定員:先着30名 ※先着順、事前登録必須
- ◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください
※個別の症例の相談にはお答えできません

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

栄養管理プロセスを活用した 栄養指導セミナー

栄養管理の手順であり、国際的な基準である「栄養管理プロセス」を用いた栄養指導をテーマとした、オンラインセミナーを開催。『栄養指導事例集』（日本医療企画発行）をテキストとして使用し、執筆者の一人である長崎リハビリテーション病院・栄養管理室長の西岡心大氏を講師に迎え、サルコペニアの症例から管理栄養プロセスを実践的に学び、効果的な栄養指導につなげます。

- 日 程：2021年3月13日(土)13:00~16:00
- 講 演：西岡心大氏(長崎リハビリテーション病院 法人本部人材開発部 副部長、栄養管理室室長、博士(栄養学))
- 形 式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込):【会員】7,000円(テキストをお持ちの方は5,000円)
【一般】10,000円(テキストをお持ちの方は8,000円)
※テキストは当日までに送付します
- 定 員：50名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:中野)
TEL:092-418-2828

セミナー情報

健康寿命延伸に貢献する栄養管理のあり方とは ~2040年を見すえた介護報酬改定&診療報酬改定の流れを学ぶ!~

医療機関や高齢者施設で働く管理栄養士として知っておきたいのが診療報酬・介護報酬に込められた国が目指す施策の方向性。これまでの流れや背景を知って施策への理解を深め、前向きにチャレンジできる体制づくりを進めましょう。

- 日 程：2021年3月14日(日)13:30~15:00
- 講 演：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所)
- 形 式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込):【会員】2,000円 【一般】3,000円
- 定 員：100名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 北海道支社(担当:横尾)
TEL:011-223-5125

日本栄養経営実践協会東北支部 設立記念講演会

東北から栄養経営の新たな道を照らす

東北支部 3月始動!

一般社団法人日本栄養経営実践協会(代表理事:宮澤靖)は、地域における栄養経営士、管理栄養士の皆様のネットワークの拠点として全国6番目の支部として東北支部の設立にあたり、設立記念WEBセミナーを開催いたします。

栄養部門の“運営”から“経営”にステップアップし、理想とする栄養管理を実現するために求められる栄養部門のマネジメントについて、協会理事である吉田貞夫氏による講演のほか、実践事例の紹介と合わせて最新の情報を発信いたします。ぜひご参加ください。

日 時：2021年3月28日(日)
13:00~15:00(予定)

参加費：栄養経営士・栄養経営サポーター1,000円
／一般3,000円

定 員：300名(先着順)



コロナ禍に求められる 栄養経営士の使命と実践(仮)

講師：吉田 貞夫氏

(医療法人ちゅうざん会ちゅうざん病院副院長・日本栄養経営実践協会理事)

●よしだ 貞夫

平成3年、筑波大学医学専門学群卒。平成9年、筑波大学大学院博士課程医学研究科卒。医学博士。日本学術振興会特別研究員。平成14年、日本感染症学会認定インフェクション・コントロール・ドクター。平成15年、日本外科学会外科専門医。平成26年、日本静脈経腸栄養学会学術評議員、代議員。金城大学客員教授。平成27年、日本静脈経腸栄養学会指導医。平成29年、日本静脈経腸栄養学会理事。平成30年より現職。日本栄養経営実践協会理事。

■プログラム

ご挨拶	支部長による就任挨拶 朝倉 徹氏 (独立行政法人地域医療機能推進機構仙台南病院院長)
記念講演	コロナ禍に求められる栄養経営士の使命と実践(仮) 吉田貞夫氏 (医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 副院長/金城大学 客員教授、日本栄養経営実践協会理事)
実践報告	「きっとできるよ栄養管理大改革~みんな私についてきて~」(仮) ※第5回全国栄養経営士のつどい名古屋大会実践活動報告を再現 角田真佐枝氏 (公益財団法人仁泉会北福島医療センター 栄養科・科長/栄養経営士)
ディスカッション	コロナ禍での栄養経営士の使命(仮) 座長 田村佳奈美氏 (福島学院大学短期大学部食物栄養学科講師)

お問い合わせ:日本栄養経営実践協会東北支部 設立準備室(日本医療企画 東北支社) 担当:三浦 TEL:022-281-8536